

教会暦では、イエス様の降誕を待ち望むアドベントから新しい年が始まります。アドベントの時期はひたすら、待ちながら準備し、クリスマスで、一気に新しい思いに満たされ、喜びが沸き上がります。

カレンダーの上では1月1日に、また、年度を考えると、4月1日に新年となりますので、ある意味では、心機一転のチャンスが何度も与えられていることになるでしょうか。

そういうわけで、まず、クリスマスに新年を喜び、祝いました。クリスマス賛美礼拝では、神の御子が人の姿をとって世に来られた時、「压制の下で、苦しみ呻き、貧しく、行き場のない、人間の世界」を象徴するように、「飼い葉桶に眠る幼子」として置かれたイエス様の前に私たちは呼び出されている、というメッセージを受けました。昨年も難民の報道に心痛めました。神様が与えられた救いの印は、現代の苦悩とかかわっているという、思いを深くしました。賛美礼拝を捧げた夜、静かな団地の中の小道をくねくねと辿りながら、帰宅しました。住宅地の一軒のお宅のお庭にクリスマスのイルミネーションが輝いていました。きっとお子さん達のために飾り付けたのでしょう。暗い夜に、小さな光でも、与えられれば、嬉しい思いになるものです。



クリスマスの食事に孫に何が食べたいかと聞くと、「ショートケーキと鳥」という要望でした。上の孫は甘党です。また、私が料理できるレパートリー内で注文する優しい子です。年に一度なので、張り切ります。



今年は割と上手に七面鳥の丸焼きができたので、ほぼ完食しました。ショートケーキは難ありでした。やはり果物はイチゴだけにしたほうが良かったようです。受験生の孫は勉強がたっぷり出来て、幸せ者ですが、やはり緊張とストレスもあることでしょう。健康管理をしっかりして、目的に向かって元気に進んでほしいと願っています。

クリスマスの飾り付けを縮小し、お正月の準備に入りました。母が3段重ねの重箱を私に申し伝えるようにプレゼントしてくれたのです。それ以来、お正月に重箱にも出番を与えてきましたが、これまで手抜きスピード料理を得意としていた私には、いまいち、真剣になれない分野です。でもお正月は、家族そろって食事する楽しみが与えられている大事な新年の行事ですから...頑張りました。



今年のお花はお二人の友人から、お庭で作っておられる、珍しい種類の大王松と、干両をたくさんいただきました。オリンピックの勝者に贈られるブーケにストレリチアがあったような気がして、孫のことを思ってストレリチアを付け加えてみました。また、友人からいただいたガリラヤ湖の日の出のカレンダーが新年を祝ってくれています。すがすがしい気持ちで新年を迎えられます。



毎年、お正月には日本人の民族衣装でコスプレを楽しむことにしています。夫も着物姿で、1月3日の新年礼拝の午後、港南台9条の会のグループの皆さまといっしょに、駅の前に立って、「安倍政権を許さない」、「戦争法の廃止を求める2000万人統一署名」をアピールしました。私も応援団として駆けつけ、署名をしました。また、駅前を歩いていた友人を見つけて、署名をお願いしました。

アピールに立たれた方々はこの日18名でした。町行く人々はお正月の晴れやかさと楽しさでいっぱいです。「おめでとう」と素直に呼びかけあえる、この平和をすべての人々に享受してもらいたいと切に願っています。この一年も、すべての方々、また、私たちのうえに神様の祝福が豊かにありますように、心よりお祈りしつつ、新年をスタートいたしました。